

製品名: MRP2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14102**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	190-250kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCC2 ABCC2; CMOAT; CMOAT1; CMRP; MRP2; Canalicular multispecific organic anion transporter
別名	1; ATP-binding cassette sub-family C member 2; Canalicular multidrug resistance protein; Multidrug resistance-associated protein 2
遺伝子 ID	1244.0
SwissProt ID	Q92887
免疫原	抗血清はヒト ABCC2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 991-1040

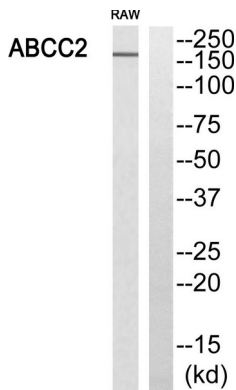
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポータースーパーファミリーのメンバーです。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を越えて様々な分子を輸送します。ABC 遺伝子は7つの異なるサブファミリー (ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類されます。このタンパク質は、多剤耐性に関する MRP サブファミリーのメンバーです。このタンパク質は肝細胞の毛細管 (頂端) 部で発現し、胆汁輸送に機能します。基質にはビンブラスチンなどの抗がん剤が含まれるため、このタンパク質は哺乳類細胞における薬剤耐性に寄与していると考えられます。この遺伝子のいくつかの異なる変異は、抱合型高ビリルビン血症を特徴とする常染色体劣性疾患であるデュビン・ジョンソン症候群 (DJS) の患者で観察されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],疾患: ABCC2 遺伝子の欠陥は、デュビン・ジョンソン症候群 (DJS) [MIM:237500]の原因です。DJS は常染色体劣性遺伝疾患で、抱合型高ビリルビン血症、尿中コプロポルフィリン異性体 I 排泄量の増加、肝細胞におけるメラニン様色素の沈着、スルホプロモフタレインの長期滞留を特徴としますが、その他の肝機能は正常です。機能: 多数の有機アニオンの肝胆道排泄を媒介します。細胞内シスプラチントランスポーターとして機能する可能性があります。類似性: ABC トランスポーターファミリーに属します。共役輸送体 (TC 3.A.1.208) サブファミリー。類似性: 2つの ABC 膜貫通型 1 型ドメインを含む。類似性: 2つの ABC 輸送体ドメインを含む。組織特異性: 肝臓、腎臓、腸管の極性細胞の頂端膜に存在。最も高い発現は肝臓で認められる。、

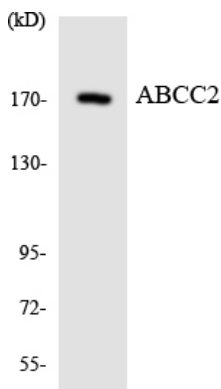
研究分野

ABC トランスポーター;

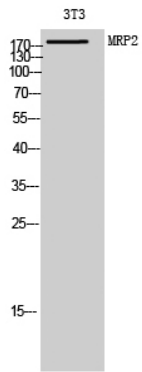
画像データ



ABCC2 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは ABCC2 ペプチドでブロックされている。



ABCC2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



1: 1000 に希釈した MRP2 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析